

27号 平成19(2007)年2月15日

自らが惹き起こした事故に対する言い訳と責任逃れに終始した JR 西日本丸尾副社長。2月1日の事故調・意見聴取会での公述内容は、私たちに新たな怒りと失望をあたえるものでした。事故調の委員長が叱責の発言をされたのも当然のことです。

また負傷者の公述に対して、委員長は、「いくつかの重要な情報をありがとうございます。ご指摘をこれからの調査の参考にさせていただきます」と、真摯な態度で受け止めています。

JR西は、安全性向上計画を高らかに謳う前に、まず遺族や被害者そして、事故調査委員会の指摘を素直に受け止め、自らこの事故の真相究明を図るべきではないでしょうか。

初めてのフォーラムは充実した内容 ご協力ありがとうございました

4・25 ネットワークが主催、鉄道安全推進会議と4・25 ネットワーク支援弁護士グループが協賛して、初めてのフォーラム「JR西日本の安全を求めて～JR福知山線脱線転覆事故被害者の切なる願い～」を2月10日、宝塚ソリオホールで開催しました。

会場はほぼ満席で、報告者みなさんの発言もよく準備され、JR西日本の安全への積極的な提言に参加者の共感を得るものでした。

安部誠治関西大学教授は講演のなかで「ダイヤ編成や保安システムなど、JR西には多くの欠陥が今も存在する。そして「事故が起こるのは現場社員が弛んでいるから」という百年前の非科学的な安全思想にしがみついている。今のままでは事故はなくなる」と指摘されました。

3両目で負傷しながら救助活動にあたった大学生は、事故をきっかけに公共交通機関の安全を考え、卒業論文にまとめた内容を発表。「必ずミスをするのが人間。事故を自分の問題として考えることが社会の安全につながる。JR西は失敗を教訓に活かさねばならない」と訴えました。

2月例会のご案内

2007年2月18日(日) 13時開場
13時15分開始 16時30分終了
場所「宝塚ソリオ2」4階

0797-86-4006 阪急宝塚駅すぐ

心のケア分科会は別室です。心のケア分科会にはカウンセラーの吉備先生が、全体会には弁護士が講師として参加されます。

例会終了後に、弁護士・税理士・司法書士・カウンセラーに個別の相談もできます。

小さなお子さんたちの保育室を設置し、ボランティアの方が例会中の保育を担当します。子どもさんをお連れの方は、なるべく事前にお子さんの年齢と人数を事務局までご連絡ください。

今後の予定

3月例会は3月18日、4月は15日、場所はいつもの宝塚「ソリオ2」です。

分科会は

2月24日(土)13:00～「説明責任」

3月4日(日)13:00～「二次被害」

同日 15:00～「人事問題」

場所は、サンビオラー番館3F

宝塚国際・文化センター会議室です。

4月25日開催の追悼行事については、来月のニュースレターでお知らせします。

その他、第1部の「**報告**」では、遺族の説明責任分科会から「事故に関する原因究明と説明責任について」、二次被害分科会から「JR西日本の遺族対応について」、人事問題分科会から「退職役員人事と企業体質について」、負傷者から「JR西日本の負傷者対応について」の報告がありました。

「JR西日本は安全に本気で取り組んでいるのか」「遺族の心情を理解するどころか、非常識な対応を繰り返している」「責任をとって辞任すると言った幹部が、2ヵ月余りで関連企業に天下りする責任逃れの企業体質こそ改めるべきだ」「自分が起こした事故から学び、語ることによって、安全に近付くことができる」などの報告に、参加者は大きくうなずかれました。

続いて、関西大学「安部誠治」教授に**講演**「事故原因とJR西日本の安全思想の欠如」をしていただきました。

安部教授は意見聴取会の公述でも、国は余裕のないダイヤに見合うATS等のシステム改良を指導してこなかった、過去に何度もカーブで事故が起きているのにカーブの安全対策を指導してこなかったなど、国の監督責任を鋭く指摘されました。

講演後の休憩時間には、ロビーにセルフサービスのお茶が用意され、くつろいで歓談される様子も見られました。

再開後は**パネルディスカッション**に移り、コーディネーターの弁護士2人とパネラー4人がこれまでの議論を深め、意見聴取会での丸尾副社長の発言にも触れて、「JR西日本は日勤教育に対する反省もなく、何をすれば安全なのか解っていない」「過去の事例から組織の

欠陥に気付くべきなのに気付いていない。JR西は学ぼうとしない組織だ」などの意見が出ました。

当日の参加者は、遺族・負傷者66人、学生・学者・研究者14人、弁護士・司法修習生10人、TASKや労働組合その他一般の人など230人ほどでした。JR西の社員も遺族担当者の4人・他が参加されましたが、本当に被害者の声を聞いてほしい幹部たちの参加がなかったのが残念です。